

平成21年度 経営協議会学外委員からの本学に対する意見等と対応状況

経営協議会	学外委員からの意見等	本学の対応状況
第1回 (平成21年4月21日開催)	・教員の業績評価をしっかりと行ってほしい。	・教員業績評価タスクチームを廃止し、新たに理事(評価担当、教育担当、研究担当及び社会貢献担当)及び各学部等の評議員で組織する教員業績評価委員会を設置し、教員業績評価の実施方法等について検討を行っている。
	・教員の選考については、より厳格に実施してほしい。	・新たに理事、各学部長等で組織する教員人事検討委員会を設置し、教員人事制度等について検討を行っている。
	・大学院博士課程で入学者が少ない専攻への対応はどうか。	・組織再編検討委員会学生教育組織検討部会で、入学定員の充足・確保策を含め大学院博士課程の在り方について検討を行っている。
第3回 (平成21年6月23日開催)	・積極的な病院経営を行ってほしい。	・平成21年度は、手術件数の増加、外来・入院単価の増額等により、附属病院収入は、年間で4.6億円の増収を見込んでいる。
第4回 (平成21年9月29日開催)	・医学部医学科の入学定員増により、臨床研修医が増加するので、受け入れ体制の整備を図ってほしい。	・研修体制の改善・充実及び研修環境の改善を図る。 ・富山県厚生部との連携強化による県内研修医増を目指す取り組みを推進する。
第5回 (平成21年11月24日開催)	・臨床研修のマッチングについて、引き続き改善を進めてほしい。	・附属病院に臨床研修部を設置し、学生の臨床教育、卒後臨床及び専門医養成にいたる一体的な臨床研修体制を構築するための体制を整備した。
第6回 (平成22年1月26日開催)	・教養教育の一元化については、責任を持って進めてほしい。	・高等教育機構会議の下の共通教育検討専門委員会において、平成22、23年度は、3キャンパスの教員が協力して各キャンパスの教養教育科目を担当する体制を整備し、平成24年度から共通教育のカリキュラムを統合・実施することとした。
第7回 (平成22年3月23日開催)	・附属病院の医師・看護師の待遇改善を図ってほしい。	・非常勤医師の確保及び処遇改善のため、週2日及び3日勤務の医員の給与を日給制から時間給制に変更して勤務形態を柔軟に対応できるよう制度改正を行い、平成22年度から実施することとした。 ・平成21年度周産期医療環境整備事業(人材養成環境整備)「総合的周産期医療人育成プログラム」が採択され、事業の一環として、女性医師支援室を設置し、育児短時間労働プログラム体制や土日に利用できるベビーシッターシステムの構築などにより、出産後及び子育て中の女性医師の勤務をサポートする体制を整備した。 ・前記事業において、女性医師復帰支援や若手医師育成プログラミング等の運営を担当する産科、小児科、NICUの医師に対して医師指導手当を整備した。